

ちょうなん

第158号
2017

2

ぎがい

議会だより



いっぱい練習したよ!
楽しんでくださいね

長南保育所園児お遊戯
ザイクスヒル長南にて 平成28年12月21日撮影

第4回定例議会

- 一般会計決算を認定…………… 2
- 統合小学校の名称「長南小学校」に…………… 3
- 6人の議員が町政を問う…………… 5～11
- 常任委員会の研修視察報告…………… 12～13

例年にない黒字 8億7367万2千円

平成27年度一般会計決算

決算 特別委員会

平成27年度一般会計決算の審査を付託された決算特別委員会を町長以下各所管課長等の出席を求め、10月7日に開会しました。

その結果、適正で経済的かつ効率的な予算執行がされているが、今後さらに一層の検討を加え、改善すべき事項の要望を付し、本決算については認定すべきものと決定し、第4回定例議会で報告しました。

なお、決算特別委員会からの質疑・要望等については、次のとおりです。

質疑（抜粋）

問 地方消費税交付金が前年度と比較し6192万円増えているがその内容は。

答 平成26年4月の消費税増税（5%から8%）により、本来は平成26年度決算から増税分が反映されるべきだが、企業の決算時期の関係から平成27年度の交付となったためです。

問 平成27年実質収支額は8億7367万2千円、例年だと1億5千万から2億円の間であったが、平

成27年度は特別土地保有税の課税分が3億8668万円、延滞金が2億9249万円と高額納税があった。町長は複合施設の整備を進めたいと話しているが、この実質収支額を活用した施設を整備するための基金を創設する考えはあるか。

答 複合施設の建設計画を立てなければならぬが、それには現金が必要となる。この8億円以上の実質収支額の活用は今後十分議論しなければならぬ。新たに基金を設けるか、財政調整

基金に積み立てるかは今後十分検討したい。

要望

1. 国県の補助金・交付金の活用について

少子高齢化の進展に伴う社会保障関係経費

などの増大が見込まれる一方、財政については地方交付税をはじめとした財源の安定的な確保は断念を許さない

状況である。今後の各種施策推進にあたっては、国・県の動向を注視し、補助金等の確保に努め、積極的な政策展開と財政の健全化を両立させる財政運営に努められたい。

2. ふるさと納税について

ふるさと納税は平成27年7月のリニューアルで返礼品を増やし還元率も改め、一定の効果を上げている。その中でゴルフ場利用券の

返礼を希望する納税が増大する一方、長南町産農産物等の返礼は伸び悩んでいる。ふるさと納税制度は長南町の特産品をPRする手段でもあるので、より有効な広報に取り組み

たい。

3. 実質収支額の有用な活用について

平成27年度の実質収支額は8億7367万2千円と例年になく収支額となっている。地方創生総合戦略などに掲げる各種事業が計画、進行され、事業の実施にあたっては、この実質収支額の活用も念頭においていること

だと思いが、活用にあたっては計画を持つて議会を含む各種関係機関とも協議する中で、より有用な活用を望む。



決算特別委員会 採決結果	議案 番号	件 名	採決 の結果	岩瀬 康陽	御園生 明	松野 唱平	大倉 正幸	左 一郎	仁茂田健一	丸島 なか	和田 和夫
	認定 第1号	平成27年度長南町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	—	○	○	×

○は賛成、×は反対、委員長は賛否に加わらないため「—」で表示

第 4 回 定例議会

統合小学校の名称 「長南小学校」に

平成28年第4回定例議会は、12月7日に招集され9日までの3日間の会期で開きました。

この議会では、第3回定例議会で決算特別委員会に付託された平成27年度一般会計決算をはじめ、町長から提出された、条例の一部改正4件、条例の廃止1件、補正予算2件を審議しました。審議の結果、原案のとおり認定・可決しました。

そのほか、議員から発議1件を提出し原案のとおり可決しました。

一般質問は6人の議員が行い、議論を展開しました。
また、第3回定例議会で可決した、閉会中の継続調査について、総務常任委員長及び産業建設常任委員長から調査結果の報告がありました。（報告内容12～13ページに掲載）

条例関係

●長南町税条例の一部改正

所得税法等の改正に伴い条例を改正するものです。

●長南町国民健康保険税条例の一部改正

所得税法等の改正に伴い条例を改正するものです。

●長南町立小学校設置条例の一部改正

平成29年4月開校する統合小学校の名称及び位置を定めるため条例を改正するものです。

●長南町ガス供給条例の一部改正

ガスシステム改革に伴う規定の追加及び石油炭炭税率の改正に伴うガス料金の改正を行うため条例を改正するものです。

●小学校児童通学補償費支給に関する条例の廃止

統合小学校の開校に合わせ、スクールバスを運行するため、通学補償費に関する本条例を廃止するものです。

補正予算

●一般会計（第4号）

2275万7千円を減額
歳出は、農業中間管理機構集積補助金、道路維持工事費、町営住宅の火災に伴う解体工事費、スクールバス乗降場整備工事費の追加や国県補助事業の交付額確定に伴う事業費の減額が主な内容で、財源は普通交付税などを充当し、県負担金などは減額となり、歳入歳出それぞれから2275万7千円を減額し、予算の総額を47億3323万円にするものです。

●介護保険特別会計（第2号）

54万円を追加

今年度実施を予定している日常生活圏域ニーズ調査に在宅介護実態調査を追加する指針が9月に国から示されたため、歳出にその調査委託料を追加し、財源は全額一般会計繰入金を充当します。歳入歳出それぞれに54万円を追加し、予算の総額を10億8290万8千円にするものです。

発議

●地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書提出

（大倉正幸議員提出）

平成27年に実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無

投票当選が増加するなど住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにするのが議員を志す幅広い世代の新たな人材の確保につながるかと考え、政府・国会に要望するものです。



税金は国保、介護にまわしてほしいと望んでいる

米満住宅跡地に若者定住促進奨励金を使用し、戸建住宅が売れだされ人口の増加が期待されます。しかし町民は、高すぎる国民健康保険税の支払いや介護保険料を町のお金をもっと使用し安くして、福祉や暮らしを守ってほしいと多くの方が望んでいます。

反対
和田和夫
議員

討論
平成27年度
一般会計歳入歳出
決算認定

賛成
御園生明
議員

適正と判断する

決算特別委員会では、慎重に審議され、特別委員長からの報告のとおり、要望も付し、認定したものであります。決算の内容についても町の条例及び規則に準じ執行されていますので、適正と考えます。

住民のきびしい視線、住民の声を十分に反映させて

議員に対する風当たりは、きびしいものがあります。被選挙権の保障の意味での特権的な制度の必要性はあるが、住民の生活状況・住民のきびしい視線・議員自身が自ら求めるなど、住民の声を十分反映する中で検討すべきで、見送り、持ち越すべきだと思います。

反対
和田和夫
議員

討論
地方議会議員の厚生
年金制度への加入を
求める意見書の提出

賛成
松野唱平
議員

議員の年金制度を時代に即するものに

意見書のとおり、全国的に町村議員への立候補者が減少し、無投票当選が増え、地方議会議員の関心の低下などが問題となっています。年金制度を時代に即することが、議員を志すことにつながると思いますので、賛成です。

平成28年 長南町議会第4回定例議会 議決結果

議案番号	件名	議席番号 議決の結果	1 岩瀬 康陽	2 御園生 明	3 松野 唱平	4 河野康 二郎	5 森川 剛典	6 大倉 正幸	7 板倉 正勝	8 左 一郎	9 加藤 喜男	10 仁茂田 健一	11 丸島 なか	12 和田 和夫	14 松崎 剛忠
認定 第1号	平成27年度長南町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	○
議案 第1号	長南町税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
議案 第2号	長南町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
議案 第3号	長南町立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
議案 第4号	長南町ガス供給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
議案 第5号	小学校児童補償費支給に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
議案 第6号	平成28年度長南町一般会計補正予算（第4号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
議案 第7号	平成28年度長南町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
発議 第1号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書提出について	原案可決	○	○	○	○	×	○	—	○	×	○	○	×	○

○は賛成、×は反対、議長は賛否に加わらないため「—」で表示

6人の議員が一般質問を行う

定例会の初日と第3日目に一般質問が行われ、6人の議員が町政について質問しました。
通告順（発言順）に掲載いたします。

和田和夫 議員

- ① 給食について
- ② 東京家政大学との協働について

加藤喜男 議員

- ① ソーラー発電への対応について
- ② 町特産品の品揃えについて
- ③ 全国瞬時警報システムについて

河野康二郎 議員

- ① 学校教育について
- ② 職員のメンタルヘルス・ハラスメント問題について

森川剛典 議員

- ① 統合小学校への移行について
- ② 町の財政について

丸島なか 議員

- ① 認知症対策について
- ② AED 設置について

板倉正勝 議員

- ① 入札について
- ② 農業推進基金の活用について

町政を問う

一般質問は、質問者本人の原稿を基に掲載しています。白丸の数字の質問を掲載しています。青丸の数字の質問は紙面の都合により掲載していません。詳しくは、議会ホームページの会議録をご覧ください。

一般質問



和田和夫 議員

給食費を段階的に無料にし、人口減対策、子育て支援を

子どもたちの口にするものは、保護者負担でもいいと思う

問

日本共産党で視察をした栃木

県大田原市は、給食費の無料化を平成24年10月から実施し、平成28年度で2億7000万円をあてています。大田原市長は人間形成が大切と当初から言っており、大型道路、箱物はつくらないとの考えです。県内でも大多喜町が平成29年度から中学生に実施すると聞いています。給食費を段

階的に無料にして、少子・高齢化、人口減少

対策のため、子育て環境を充実させて移住者を増やす考えはありますか。

町長

施設、維持管理、人件費等にかかる経費は、設置者の負担で、その他の費用は保護者負担となっています。基本的には、子どもたちの口にするものは、

問

11月3日の長南フェスティバル

2016で長南町の特産品を使ったどんぶりメニューが表彰され

東京家政大学との協働について

保護者負担でもいいのかと思っています。経済的な負担で給食費が賄えない家庭は、就学援助制度があり給食費を全額支給しています。

町長

ました。メニューの紹介とレシピはどのよう

に町民の皆さんに知らせていますか。広報、ホームページで紹介するだけでなく、学校給食のメニューや各家庭に配布する考えはどうか。

レシピは大学で監修して紹介します

どんぶりメニューの

レシピ提案書は大学で監修を行い終了後、町内の食堂、ゴルフ場、レストラン、町給食所などに紹介する予定です。町民へは町の広報やホームページで紹介

企業版ふるさと納税について

問

企業版ふるさと納税は、6県

81市町村の102事業が認定を受け事業費は323億円、11月25日に55件が追加をされています。第3回が平成29年1月までの申請です。企業版ふるさと納税に応募して、事業展開をしていく町の考えはどうか。

財政課長

寄附金活用事業として検討します

地域再生計画を申請するには、長南町まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけられた事業であることが必要です。効果の高い事業、企業が応援してくれる寄附金活用事業として、企画立案していくことができるか検討します。



東京家政大学の学生が考案した どんぶり

ソーラー発電施設は 土砂流失等の災害も想定されるが

設置事業者を指導する



加藤喜男 議員

問

ソーラー発電については、台風や突風によりパネルが飛散した事例や、森林開発等や斜面への設置により、豪雨や日光遮断による斜面の耐力低下により土砂流出、土砂崩れ等が起こり、下流の農地、住宅に被害を及ぼす事例もあるようです。

建築基準法の適用除外で、町も直接関与できないと思いますが、行政としての様に考えているか伺います。

建設環境課長

太陽光パネル等の施設は、建築基準法上の建築物ではないことから、

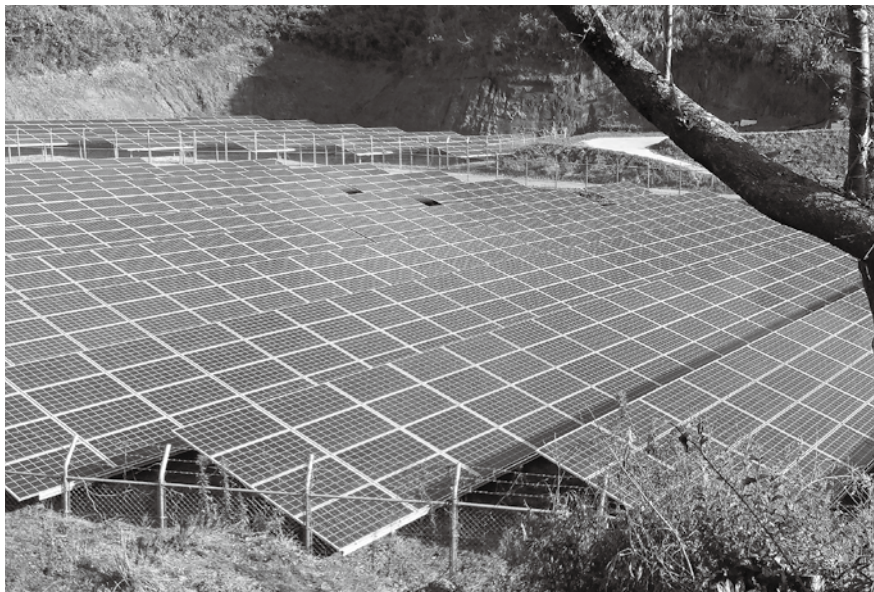
ら、都市計画法による開発行為の許可は必要とされていません。しかし、土地の利用の計画については、設置する場所等において、森林法など、各種の関連法令に基づく許可等が必要となっています。このため、環境や防災対策など、行政による指導を受けることになるので、基本的には安全性が確保されていると考えています。異常気象等による突風や豪雨により、被害が発生した場合には、設置事業者による復旧を指導していきたいと考えています。

問

町では「まち・ひと・しごと

町特産品の品揃えは

総合戦略」の一環とし、観光物産センターの構想があります。常設の直売所を設けて年間を通して販売するには特産品も含め多くの品揃



本町にも設置されている「太陽光パネル」

えが必要になると思いますが、どの様な構想・戦略を立てているか伺います。

これからしっかりと議論を

町長

観光物産センターに

については、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げていますが、観光客を中心とした観光物産センターというよりも、公民館建替えに伴うふれあい交流センターに併設する形で、スーパーの機能を備えた直売所を作っているかどうかと考えています。

これについては、これからしっかりと議論をさせていただくことになりませんが、特産品を販売する直売所については、年間を通じての野菜などの商品の品揃えの豊富さが一番重要だということです。したがって、直売所を設置するに当たっては、その企画力、経営力のある民間の力を借りていきたいと思っています。具体的な検討は、これからしっかりとやっていきたいと思っています。

一般質問



河野康二郎 議員

街づくりでもある

学校教育について

子育ての地として選んでもらえる

施策を推進する

問

教育を地域おこし、街づくり

の一環とした共通認識とするため、学校教育について伺います。

教育長

確かな学力の育成を図ること、自分たちの後に続く人材を育てることを課題とし、25年

問

この戦略の上にあるICT教育の拡大として、教科、校務、中学校への導入について考えを伺います。

育の拡大として、教科、校務、中学校への導入について考えを伺います。

問

新たに教科となる英語教育への活用や範囲の拡大、

学校教育課長

すべての教科で活用します。教職員活用、中学校への導入については現段階では考えていません。

学校教育課長

教職員の情報の共有化と繁忙解消のため、また幅広く活用できる中学校への導入について、小学校の検証の上に検討をお願いします。次に、誤った情報や危険回避のため、選択する能力や使用ルールを身につけることが必要となります。その取組みを伺います。

ネット使用のモラル、犯罪に巻き込まれないよう指導を行っています。

問

改めて、統合小学校の人員構成と学習支援員について伺います。

学校教育課長

約260名で、法的には9学級プラス2学級を予定しています。教職員定数については、年

度末を待たないとわかりません。学習支援員は、中学校2名、小学校4名を配置しています。統合後も、現状の役割から配置してもらいたいと考えています。

問

小中一貫教育、4校統合時の繁忙、ICT教育の開始、英語教育の導入などといった新たな状況が加わることから、学習指導員の現行人員配置は必要と考えます。また誰が英語授業を担当するのか伺います。

教育長

定数以外は市町村の対応となりますが、町は厚く配置されているので従前の形でお願いします。英語に関しては、ALTの活用、職員研修を行う、また専門的な支援員についても今後考えていきます。

問

町職員は、町にとって資源・財産であるとの観点から、ハラスメントの相談窓口の運用状況と悉皆（しっかい）研修の実施について伺います。

メンタルヘルス・ハラスメントの全職員研修の開催を

専門的な講師により実施する

総務課長

総務課に男性・女性職員各1名の2名体制で担当窓口を据え、職員に周知しました。現在まで相談はありません。メンタルの講習会に、ハラスメントについても職員全体を対象に受講を考えています。はじめは外部講師により実施する研修会を設けていきたいと考えています。

8億7千万円の黒字をどう使いますか

耐震化を優先させた大規模施設事業に



森川剛典 議員

問

平成27年度の一般会計について

実質8億7千万円弱の黒字が発生しましたがどう処理されていますか、また今後の予算編成に向けて活用をどのように考えていますか。

財政課長

取扱としては28年度予算で前年度繰越金と

※公共施設の耐震化・・・

役場・公民館の耐震基準不足が指摘されている

町長

しています。活用は耐震化を優先させた大規模施設整備事業への基金創設、財政調整基金への積み立てを考えています。

この貴重な財源をどうしてもやらなければならぬ耐震化に、是非回していきたいと思っています。

違う事業展開について

問

今回、高額納税（特別土地保有税6億7千万円）があつた同じ場所です

事業展開があるようですが、把握していますか、また町税確保を含めてどのように考えていますか。

税収アップ

建設環境課長

事業計画の開発行為については関係法令に基づく手続きが行われ事業（太陽光発電所）が進展して行くものと考えています。

税務住民課長

土地に係る固定資産税の概算は360万円程度、償却資産に係る税については森川議員の算定額（税収予定5200万円）であると思っています。

町長

一概には言えませんが、現在では土地保有税もなくなっていますので、開発計画があれば早めに開発されて、税収アップに繋がっていかば良いと思っています。

各小学校の有用な財産について

問

各小学校は来年3月に閉校になります

ありますが、施設や物品はどのような状態やスケジュールで移行するのか。また、各小学校にある有用な財産についてはどのような基準や計画で処理するのか伺います。

縛りの解除

町長

縛りのある教育財産から普通財産に変えて、使いやすいものになります。

3つの分類と2段階処理

学校教育課長

平成29年度のスタートに支障のないように、引越しの作業を最優先として、備品については一定期間、施設内にとどめ順次処理をしていきます。

各小学校の教頭を責任者に置き、教科主任が連携した判断基準で「持ち込む物・持ち込まないが、まだ使える物・廃棄する物」の3つに分類します。

第一段階では備品台帳を公開する中で長南中学校をはじめとする町内の公的な施設を優先に利用して貰います。第二段階では長生郡市内の教育委員会を通じて、教育施設で利用して貰えるように考えています。

一般質問



丸島なか 議員

認知症対策について

簡易チャエツカーは必要か調査検討する

問

我が町は認知症患者が、人口減少している中で平成26年11月は368人で、2年後の現在、444人と増加傾向です。認知症は、軽度の認知症を早期発見することが重要です。最近では、ホームページで、パソコン、携帯、スマホから簡単にチャエツカーが導入されています。費用面は、

初期導入は3万円で、当初費用は6万円です。本町での認知症簡易チャエツカーを導入する考えを伺います。

町長

認知症の簡易チャエツカーは、必要なものなのか調査検討します。

問

高齢者の居場所づくりとして、誰でも気軽に利用できるサロンを空き家で

や空き店舗を活用して開設したらと思っています。認知症カフェの取り組みを町はどう考えますか。

事業の充実を図ります

保健福祉課長

町では、カフェという名前は使っていないが、引きこもりがちな高齢者に対して、

元気教室等で、デイサービスを行っているので、事業の充実を図っていきます。

AED設置について

問

町内にAEDが全部で29施設、32台設置されていますが、利用できるのは、平日の昼間の時間帯のみで、夜間や休日、施設が施錠されている為、利用できない場合が多くあります。他地域では、24時間営業のコンビニエンスストアに協力を依頼して、市がお願いし店内にAEDを設置して、24時間利用しやすい体制を整備しています。財政面については、町のリース契約は、1台1カ月、4212円、町は3カ所コンビニがある、15万1632円、毎年、費用がかかります。町内のコン

ビニエンスストアに設置することについて、町としての考えを伺います。

判断は企業に委ねたい

総務課長

AEDの設置を町がお願いするより、企業が独自に意識を持って、判断は企業に委ねたいと考えています。

ホームページに載せて欲しい

問

AED設置場所のマップと使用方法の動画を、ホームページに載せて欲しい。又、来年4月から4小学校が空き校舎となり、AEDをどうするか伺います。

協議検討します

総務課長

取りつける企業や、撤退・撤収等があり、常に移動があるので、町全体で管理することは、難しいので作成は考えていません。取り扱い方法の動画は、広域と協議をして検討します。

財政課長

4小学校のAEDは、統合小学校、長南中学校、改善センター、児童クラブに更新を予定しています。

指名審査会の業者選定基準は

審査基準・運用基準に基づき実施



板倉正勝 議員

問

指名審査会の業者選定で金額とランク付けの基準について伺う。

財政課長

業者選定のランク付けは、2年に一度の入札参加資格審査申請の受付にあわせて実施しています。

町の建設工事等入札参加業者資格審査基準及び運用基準に基づき、経営規模等評価結果通知書の点数に町での工事成績の平均点、年間平均工事高、町工事施工実績、ISO取得などを考慮して合計

問

点を算出し、土木、舗装、管、建築工事の4工事について、AからCまでのランクを付けています。

二〇二二、三年

財政課長

で不調入札が数件あると聞くと、設計金額、予定価格、積算の妥当性について伺う。

不調入札は、平成26年度3件、28年度は現在まで1件の不調入札がありました。設計金額は、各種工事とも県等の積算基準に基づき設計しています。予定

問

価格は適正な設定が示されているので、設計金額、予定価格とも妥当であるものと考えています。

公共工事の品質確保の促進に関する法律が改正されたが、平成28年度の不調1件は、工法、安全性などに関してある程度協議もされたように聞いているが、発注側として自分たちが設計したからそれをやってくれというだけでなく、きちんとした協議方法もあると思うがいかがか。

建設環境課長

この不調の案件は、安全性について検討する余地もあったかと思いますが、県の積算基準に基づく標準的工事の積算のもとで設計をさせていただきました。

農業推進基金の活用について

問

農業推進基金は第1期が平成28年度で終了し、第2

期が平成29年度から開始されるが、現状と第2期の考え方について伺う。

農地保全課長

将来に活きる活用を

地域農業整備補助金は、全農家参加型の農業を推進するため、耕作放棄地の防止や担い手農家の育成などを目的に、平成24年度から平成28年度までの第1次5カ年整備計画で、5つの営農組織と認定農業者などの大農家7人の各経営体が、施設や機械の整備などに充てた事業費4億5350万円、この経費の50%2億2425万円

の補助金を交付しました。

第2次に向けては、地区単位による経営体の協議の場である地区協議会、各地区における経営体の具体的な地域の集積計画などについて、地域の事情に合った施設等の整備を進めたいと考えています。

補助金交付要綱は、各経営体の整備事業費の限度額、町の特産品のレンコン農家の対象要件である経営規模の緩和などの見直しを行いました。

限りある地域農業推進基金なので、将来に活きる活用を心がけていきます。

「防災」「町づくり」の研修視察

総務・教育民生常任委員会

閉会中の 継続調査

総務・教育民生常任委員会合同による議会閉会中の継続調査のため、平成28年10月17日から19日の三日間、北海道札幌市及び亀田郡七飯町（ななえちよう）を視察しました。

初日は、防災をテーマに「札幌市民防災センター」を訪問しました。この施設は、減災社会の実現を目指し、地震や暴風をはじめとする各種災害の疑似体験等を通じ、災害から身を守るすべや日頃の備えの大切さを学ぶことを目的にオープンされました。近年、多くの災害が発生しています。本町においても大きな災害がいつ発生するかわかりません。災害による被害をできるだけ小さくする取り組み、それが『減災』です。この施設の設置目的である『災害から身を守るすべや日頃の備え』

は一時の体験でしたが、防災訓練や自主防災組織の必要性を改めて認識しました。

二日目は、有珠郡壮瞥町（うすぐん そうべつまち）の「道の駅そうべつ情報館アイ」において、職員からこの施設について説明をいただきました。この施設は、観光情報館、農産物直売所、エコ

ミュージアム、火山防災学び館の複合施設で有珠山（うすさん）噴火時には役場機能移転先としての役割も担い、また消防支署も併設されていました。観光では有珠山、洞爺湖（とうやこ）を中心とし年間約240万人が訪れているとのことでした。

最終日は、まちづく



「札幌市民防災センター」職員からの説明

りをテーマに「七飯町役場」を訪問しました。七飯町は、北海道渡島（おしま）半島の南部に位置し、北海道函館市から約16km、本年3月に開業した北海道新幹線「新函館北斗駅」へは、町中心部から車で約10分の好条件な位置にあります。七飯町では、北海道の人口の半分を有している札幌方面からの流入人口を想定しており、札幌駅から1時間程度になるので、「大沼国定公園周辺」での高級ランチを主とした日帰り観光客をターゲットとした計画を進めたいとのことでした。



「七飯町役場」にて質疑、応答

本町においては、交通の要となる「首都圏中央自動車連絡道茂原・長南インターチェンジ」周辺の活用、「小学校跡地」の活用、さらに「長南町西部工業団地計画跡地」の活用など、重要な『まちづくり』の課題が累積しています。

今回の視察研修で学んだことを、今後の町発展に役立てて行きたいと思います。

「米のブランド化」

「農産物販売施設」の研修視察

産業建設常任委員会

私たち産業建設常任委員会では、委員会の中で視察研修について目的を話し合い「米のブランド化」「農業特区」「指定管理者制度」など先進性を学ぶことを課題として研修先を選定しました。その結果、平成28年10月17・18日の1泊2日で群馬県川場村（かわばむら）の田園整備課と3つの道の駅を視察研修してきました。

〈10kg 7700円のお米〉
群馬県川場村の「雪ほたか」の販売価格はなんと10kg 7700円です。行政自らが袋詰めから始め、10年経過した今では、生産組合から株式会社に移行しています。

〈過疎債の活用〉

同じ川場村の道の駅



「川場村役場」にて質疑、応答

た場所を河川改修で用地を生み出し、今度は「安心できる」地域の防災拠点と交流の場にするというピンチをチャンスに変えたアイディアには感心しました。

「川場田園プラザ」は関東好きな道の駅ランキングで5年連続日本一となっていますが、その理由は寄る道の駅ではなく、そこへ行ってみたいという「目的地」になるというコンセプトがわかりました。

ですが、活性化のためにいち早く過疎債を使って建設をした「町のやる気」の結果が出たこのことです。

〈黒字を目指す指定管理者〉
新潟県見附市（みつけし）の荻田谷川（かりたやがわ）防災公園にある道の駅「パティオ」に

また、道の駅の経営を任されている指定管理者の方は近くで民間市場の経営もしているというところで、民間の経営感覚とノウハウがこの道の駅の黒字化の原動力だと知りました。

〈主婦が主役〉

新潟県燕市（つばめし）の道の駅「国上（くがみ）」の端にある野菜市場は、ほとんどの物が100円という安さから平日なのに大行列を作っています。なんでも、40人ほどの農家の主婦の皆さんが、主婦目線のきめの細やかさやお小遣い稼ぎの感覚で直接販売していることが成功の秘訣のようです。これはお金

をかけて道の駅を作らなくても、生産者のやる気と少しの野菜売り場スペースがあれば出来ることを教えてくれました。

今回の視察研修では、多くのノウハウを学びましたので、今後のコメのブランド化や道の駅に準じると思われる複合施設の建設に活かしていきたいと思っています。



「パティオにいがた」指定管理者からの説明



長南中学校2年
さいとう
齊藤 佳愛さん

長南町の 若い力



長南中学校2年
おたに
大谷 凌也さん

かつこい先生に

僕は、将来学校の先生になりたいです。なぜなら、小学校のときの若い担任の先生が堂々と前に立ち生徒に教えているところがとても、かつこいと思ったからです。

今現在は、学問についてはまだまだ未熟で知識もあまりありませんが、大人になるまで

の時間はまだたくさんあります。その時間を使い、学んだ事もこれから学ぶことも努力して少しずつ夢を現実に変えていきたいと思えます。

僕は、子供達が勉強を好きになってくれるようなかつこい先生になりたいです。

医者、警察官僚になりたい

私は学校のクラブ活動に所属しています。勉強に専念したいと思っていますからです。私の夢は二つあります。一つ目は医者、もう一つは警察官僚。

医者になりたい、そう思ったのは小学5年生のころです。風邪で病院に行くたびに、医者はいい仕事だと感じ始めました。そして、

警察官僚になりたいと思っただけではなく、祖父が警察官だったことです。人のために仕事をする、そんなところに私はひかれました。どちらの仕事も、なるにはたくさん努力が必要です。なりた人物像に近づけるよう、今日も私は勉強をします。

議会を傍聴してみませんか？

次回定例議会は、**3月1日(水)**から開会の予定です。

議会だより(第157号)クイズNo.93の正解は、問1=A、問2=C、問3=Bで全問正解者は13名でした。当選者の発表はクオカードの発送をもってかえさせていただきます。(議会クイズは、クイズNo.93をもって終了しました。)

風雪に耐える2つの石像



旧豊栄小学校隣接地



長南小学校

二宮金次郎(尊徳)像の行く末
二宮金次郎は、江戸時代後期の農政家・思想家です。寝る間も惜しんで勉学に励み、「薪を背負いながら本を読む」像は、勤勉のシンボルとして日本全国の小学校にありました。
最近、「歩いて本を読むのは危険」「教育方針にそぐわない」などの理由もあるのかあまり見られなくなりました。二宮金次郎の代わりに目立つのは歩きスマホ族です。
写真は長南小学校と旧豊栄小学校隣接地にある石像です。

編集のあとで

年頭より各紙面で「世界は混沌(こんとん)」の文字が躍っていました。改めて、いろいろ見聞きし、自分なりの考えを持つ必要性について痛感させられました。

先だって、12月に第4回定例議会が終了しました。これから小中一貫教育の新長南小の開校、4校跡地活用、渡邊辰五郎記念館を含めた町庁舎施設の建設整備等といった課題が山積しています。過疎化に負けない活力ある街づくりに向けて、町民の皆さまに知らせ聴く、町の広報広聴活動の一翼を担う紙面の充実を図ってまいります。

(河野康二郎)

長南町広報特別委員会

発行責任者	板倉正勝
委員長	加藤喜男
副委員長	河野康二郎
委員	大倉正幸
同	森川剛典
同	松野唱平